

1. 件名：高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チームに関する面談（5）
2. 日時：令和5年3月28日（火）11：00～12：50
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者（※一部テレビ会議システムにて参加）：

原子力規制庁

技術基盤グループ 技術基盤課 照井課長補佐

システム安全研究部門 皆川技術研究調査官

原子力規制部 原子力規制企画課 藤森企画調査官、伊藤係長、今田係員

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ マネジャー 他7名※

原子力エネルギー協議会 部長 他1名

5. 要旨：

- 原子力事業者等から、第3回高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チーム（以下「検討チーム」という。）での議論を踏まえて、長期施設管理計画の記載内容について確認があった。
- 原子力規制庁から、長期施設管理計画の期間の記載の考え方や、検討チームで議論した劣化評価の考え方等について示した上で、引き続き記載内容について検討を進めるよう伝達した。
- 原子力事業者等から、了解した旨の回答があった。
- また、原子力規制庁から次回検討チームにおいて、原子力事業者等として第3回検討チームで示した資料に関して質問・意見等があれば意見表明の機会を設ける用意がある旨を伝達するとともに、第3回検討チームで議論となったサプライチェーンの管理について原子力事業者等において現在行っている取組を紹介できないか検討するよう伝達した。
- 原子力事業者等から、検討する旨の回答があった。

6. 配布資料

資料 なし（第3回検討チーム資料について適宜参照）